

お客様各位

株式会社 山喜農園  
新潟県魚沼市原1280-1  
TEL. 025-794-2455  
FAX. 794-4168

E-mail: info@yamaki-noen.co.jp  
HP Address: http://www.yamaki-noen.co.jp

## 球根情勢報告

### 2015年産ワヅカ産/フランス産在庫表送付にあたり

平素よりお引き立ていただき誠にありがとうございます。

2015年産ワヅカ産/フランス産在庫表送付させていただきます。よろしくご確認ください。

#### 為替レート

15年10月末までに頂いたご注文につきましては、期首受注分からの平均適応レートは¥134.5~134.6となっている様です。

11月受注分適応レートは、¥133.0~135.0にてご案内をさせていただきたく存じます。  
やや円高傾向となっておりますので、¥134-内外が適応できればと考えております。

#### 作況による変更（受注調整）

エプリー・ブライトナーは、大幅欠品・代替提案で別品種での対応となっております。

ルミトンは、12/14サイズ欠品・14/16代替で、どうやらチェザールと違い、分球率が高い品種の様で、2芽球に在庫を作ることが出来ました。

先週半ばまでは、球根栽培農家から輸出業社への球根納品は、前年同期で約20%くらい遅れていましたが、週末から週明けにかけて納品が進み、ほぼ前年並みの納品速度にまで回復した様です。

O.H系2N球及び養成球サイズの掘り取り・選別・納品作業が開始したとの事。  
大幅な欠品が予測されましたが、今の所、納品率は悪くない様です。

品質については現段階ではコメントしづらい…。

ある輸出業社は、「未熟球気味…」というコメントをしていますが、一方で「球根は硬くしまっている。」という意見もあります。見極めるにはもう少し時間が必要と考えられます。

毎年の恒例作業となりますが、『作況によるところの受注変更』作業が行われます。

14年産ワヅカ産/フランス産・15年産南半球産百合球根は、前年比輸入量が大幅に減少しているにもかかわらず、国内切花生産量もそれ以上に減少傾向を示したようで、業界未販売在庫の割合は、例年比やや多かった様に感じています。

15年産ワヅカ産/フランス産百合球根の日本市場は、発注確保率で

A.H/L.Aで95.0~105.0%（前年比）

O.H/O.Tで85.0~90.0%（前年比）

一方、日本市場の切花生産者の皆様からの受注率は、

A.H/L.Aで約80.0~85.0%（前年比）

O.H/O.Tで約80.0~85.0%（前年比）

となっていた模様。

（主要輸出業社4者の、各輸入業社からの取引進捗状況聞き取り調査から。10月20~27日調査（約1ヶ月前）。）

輸入業社の雰囲気は、A.H/L.Aは、欠品して欲しいと感じている。

O.H/O.Tは、「やはり去年はまだ輸入し過ぎ。15年産売れてないし、買えてないし…。大事な品種が欠品しなければ良いけど…」と考えているのではないかと推察できます。

O.H/O.T系の受発注作業で遅れているのが、日本市場主要品種①ソルボンヌ②シラ③シベリア④カブラカ⑤エローウインの順番。(一番遅れているのがソルボンヌ。輸入量の順位ではありません。念の為。)

エローウインは、もっと輸入量が減ったほうが良いのでは？

カブラカは、もっと輸入量が減ったほうが良いのでは？

ソルボンヌ・シラの代替品種は無くても構わないのだろうか？

シベリア/サンバジ、カブラカ/代替品種とのバランスは？

など、O.H/O.T切花産業は、いよいよ次のステージに変わるのでしょうか？

Plamv問題も踏まえ、全体傾向が見えにくい情勢が続いています。

O.H/O.T掘り取り前の最後の仕入期となろうかと思えます。よろしくお願い致します。

P. S.

先日、開催されました『第1回全国ゆりサミット in ふかや』には、全国から大勢の皆様から参加いただき、第1回開催という事を考えれば、まずまず喜んでいただけたのかなあと、深谷の百合切花農家の感謝の気持ちが皆様に伝わってくれたなら、本当に良かったと思えました。

「パネルディスカッションは、分かり難い。」「わらにもすすがる思いで答えを…ヒントを聞きに来たのに…。」と、若干お叱りの言葉を頂いております。

2020年以降、各国球根産地が出来ることの仕込みはもう60~70%くらい終わっています。

『自らが求めていかないと忘れられてしまう。』『声は大きいほうが良い。』が供給側に立ったパネリストの伝えたい思いだったのではないかと思います。

『花屋さん』から発言された「生産者の、球根業社のエゴなのでは？」は、刺激的でした。

「市場は需要供給のバランスを取る機能を持ち続けられるのか？」

「市場代表のパネリストは、生産の声、消費の声を双方に伝えられますか？」

次回開催に向けて、専門性の高いサミットが開催されればよいなあと思えました。



<http://www.lily-promotion.jp/>

私共はLPIの趣旨に賛同し  
協力・応援しています

以上  
森山 隆